

シルバー やちよ

<http://www.sjc.ne.jp/yachiyo/>

公益社団法人
八千代市シルバー人材センター

〒276-0046

千葉県八千代市大和田新田 312-5 福祉センター 1 階

電話：047-484-4680 FAX：047-484-9544

会員数 685 名（男 562 名、女 123 名）

平成 31 年 1 月 10 日現在

No.
124
2019.1.15

自主
自立
共働
共助



Wakikawa

お正月の忘れもの

作品提供 脇川 武美

≫ 新年のご挨拶

会長 大井 幸登

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆さまには健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

近年、少子高齢化によって労働力人口が年々減少傾向にあり、この対策として、再雇用・定年延長等の様々な対策が講じられています。それに伴い新規入会者の年齢も上昇しており、会員の平均年齢もさらなる高齢化が余儀なくされ、センターを取り巻く環境は大きく変わって来ております。

今年センター創立35周年を迎えます。人生100年時代、センターは労働人口減少対策の補完的役割を担うことが期待される社会環境の中にあります。

新年を迎え、気持ち新たに、「報・連・相（ほうれんそう）」を各位に求め、会員相互の情報共有を図ってまいります。そして、センターの意志決定は理事会で行うという事業運営の基本に立ち返り、公益社団法人としての社会的責任を全うするため法令順守を徹底し、会員の増強と、安全就業を前提とする就業機会の拡大を目標に、地域社会に貢献出来る、魅力のあるセンターを目指す事業運営を行ってまいります。

結びに、本年も市民の皆さまと、公共機関の皆さま並びに、派遣先等の事業所のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員の皆さまのご健康、そして当センターの益々の充実発展を祈念いたしまして、ご挨拶といたします。



≫ 新年を迎えて

八千代市長 服部 友則

あけましておめでとうございます。

シルバー人材センター会員の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より高齢者の就業機会の拡大に尽力され、就業を通じて健康を維持し生きがいを見つける場となっているほか、地域社会の発展に貢献されていることに深く敬意を表します。

本市の高齢化率は平成30年4月1日現在24.8%となっており、全国及び千葉県と比較して低い水準とはなっているものの超高齢社会が進行している状況となっています。

このような状況の中、市では現在、第7期となる八千代市高齢者保健福祉計画に基づき、様々な施策等を実施しているところでございますが、高齢者の社会参加の促進において、シルバー人材センターが大変重要な役割を果たしていただけるものと期待しております。

市といたしましても、今後も引き続き高齢者が安心して地域で暮らせるよう、高齢者やその家庭等の現状やニーズを踏まえた施策を推進してまいりたいと考えております。

結びに、シルバー人材センターの益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。



» 平成 30 年度八千代市篤行者表彰



春山 茂雄 会員



大久保 義夫 会員

八千代市では毎年 11 月 23 日（勤労感謝の日）に、市政の発展に功労があった方々への表彰が行われています。このたび、2 人の会員が表彰されました。

春山茂雄会員は「社会事業功労」で表彰されました。春山氏は平成 11 年に当センターに入会し、平成 19 年 5 月から平成 27 年 6 月までは理事としてもセンター発展のため尽力されています。

大久保義夫会員は「地方自治功労」で表彰されました。大久保氏は自治会長として地域社会の向上に尽力されました。

お 2 人ともおめでとうございます。

» 会員作品紹介

書



大木 彦邑

鯉の滝登り

鯉は、日本では神様の御使者出世魚として開運、金運、恋愛運等の縁起物で、特に金色の鯉は、金運・財運を招く魚とされている。

また、中国の故事によると、黄河の上流にある滝を登り切った鯉が龍になるとの伝説から、日本では子供の立身出世を祈願して、端午の節句に鯉登りをあげる風習がある。

空きカンアート



阿井 秀次

≫ 理事会開催報告

▼平成30年度第5回定例理事会（平成30年9月27日開催）

- ◇議 案 ①平成30年9月の正会員10名の入会承認
②再雇用職員就業規程の制定について 原案可決
- ◇協議・報告等 ①平成30年度八千代どーんと祭参加割振りについて協議 ②事務局体制について協議 ③平成30年7,8月分事業実施状況報告 ④阿蘇作業所の移転等に関する報告 ⑤役員報酬等の振込みに関する報告 ⑥植木剪定・除草就業会員意見交換会開催報告

▼平成30年度第6回定例理事会（平成30年10月25日開催）

- ◇議 案 ①平成30年10月の正会員12名の入会承認、2名の退会報告
②平成30年度収支補正予算について 原案可決
- ◇協議・報告等 ①平成31年度予算編成について協議 ②平成30年9月分事業実施状況報告 ③阿蘇作業所の移転等に関する報告 ④八千代どーんと祭出展報告 ⑤山崎会計事務所監査報告 ⑥県シ連主催第1回事務局長会議出席報告

▼平成30年度第7回定例理事会（平成30年11月22日開催）

- ◇議 案 ①平成30年11月の正会員7名の入会承認、2名の退会報告
- ◇協議・報告等 ①平成31年度予算編成について協議 ②平成30年10月分事業実施状況報告 ③阿蘇作業所の移転等に関する報告 ④第1回地域連絡員会議開催報告 ⑤第1回派遣事業運営協議会出席報告

▼平成30年度第8回定例理事会（平成30年12月20日開催）

- ◇議 案 ①平成30年12月の正会員11名の入会承認、2名の退会報告
②事務費規程の一部改正について 原案可決
③職員給与規程の一部改正について 原案可決
④再雇用職員就業規程の一部改正について 原案可決
- ◇報 告 等 ①平成30年11月分事業実施状況報告

≫ 安全情報：理事会からのお願い

1. 事故情報

屋外作業時、腐食した三脚を使用したことにより、転倒して作業者が骨折する事故が発生しました。

事故原因は作業前に三脚の点検を怠ったことに起因するものです。

作業を開始する前には、必ず機材の使用前点検の励行を心掛けてください。

2. 安全就業標語の募集

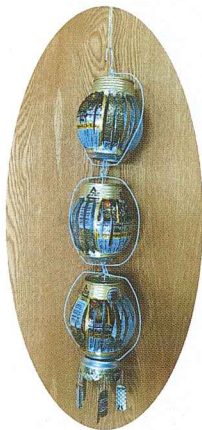
安全就業意識の啓発に活用する安全標語を2019年2月1日（金）～3月29日（金）で募集いたしますので応募よろしくお願ひします。

本紙添付の安全就業標語募集要領を参照願ひします。

» 2018 八千代どーんと祭に参加

10 月 20 日・21 日に総合運動公園において八千代どーんと祭が開催されました。

今年もシルバー人材センターのブースを設け、百合の会による作品の販売、会員の作品展示、センターの高齢化社会における役割、高齢者の活用及び仕事内容を紹介した数種類のパネルを展示しました。



また、ブース前では百合の会、パソコンサービズ班、理事が事務局職員の協力のもと、チラシ配布をし、八千代市シルバー人材センターの PR 活動をしました。

シルバー会員、理事及び協力いただきました事務局職員の皆さまご協力ありがとうございました。
細野 正行



» 同好会からのお知らせ

年 4 回
コートダジュール
(佐倉市并野)

カラオケ同好会のお知らせ

3 か月ごとに会員が集い日頃歌っている唄をみんなで楽しんでいます。
1 回のみ参加でも OK です。
採点にこだわることなく皆さんの前で歌う楽しさと親睦をはかる上でも良い機会になると思われます。

歌って、聴いてカラオケ好きなあなたの寄り所となればと願っています。

積極的な参加をお待ちしています。

同好会に参加希望される方はシルバー事務局までご連絡ください。
連絡先 047-484-4680 シルバー事務局

カラオケ

年 4 回コートダジュール (佐倉市) 次回開催日はお問い合わせください。

ゴルフ同好会のお知らせ

年 4 回、会員が集まって八千代ゴルフクラブ(八千代市米本)でゴルフ大会をしています。

スコアにこだわらずみんなで一緒にゴルフを楽しみませんか。
積極的な参加をお待ちしています。 女性の参加をお待ちしています。

同好会に参加希望される方はシルバー事務局までご連絡ください。
連絡先 047-484-4680 シルバー事務局

ゴルフ

平成 31 年 3 月 6 日開催のゴルフ大会は第 30 回記念大会です。

同好会に参加を希望される方はシルバー事務局までご連絡ください。積極的な参加をお待ちしています。

≫ 冬休み親子パソコン教室～スクラッチのプログラミング初級編～

平成30年12月22日（土）・平成31年1月5日（土）にシルバー人材センターパソコンサービス班と勝田台公民館共同で「冬休み親子パソコン教室～スクラッチのプログラミング初級編～」を開催いたしました。

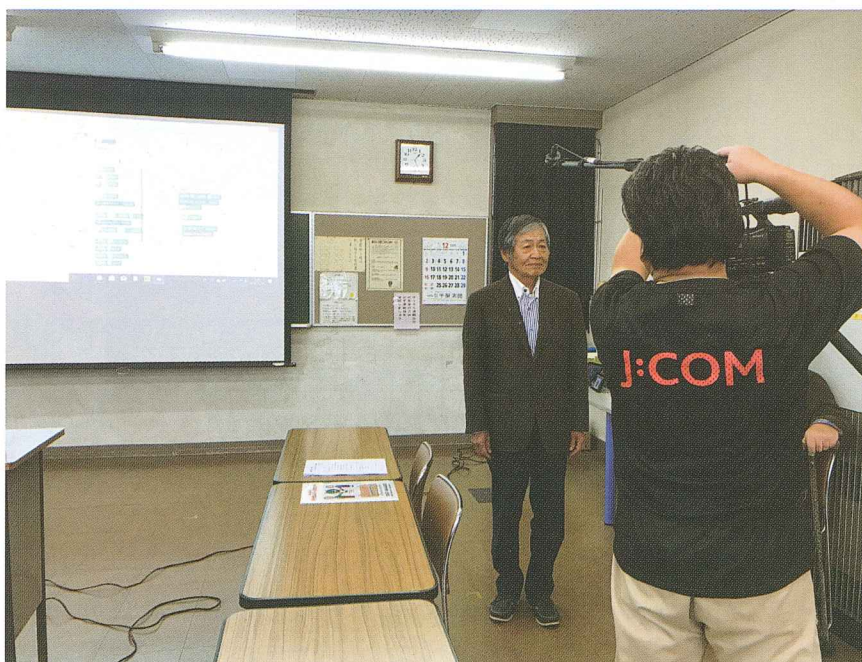
1日目は、J:COMの取材も入り板橋館長と大井会長の挨拶で始まりました。5組の親子の参加があり、準備が整ったところでスクリーンに映し出したキャラクターの猫をパソコンの画面いっぱい歩き回らせるプログラム作りの手順を説明しま



した。子ども達のマウス操作やプログラムを組み立てる手際の良さにビックリです。子ども達がプログラムを完成させた頃合いを見計らって、講師から作品を自分で作るという宿題が出されました。

2日目は、子ども達の作ってきた作品をスクリーンに映し出しながら、プログラムを作る時に苦労した点や難しかった点をそれぞれが発表しました。保護者の方は黙って見守っていましたが、内心、自分の子どもの作ったプログラムに感心していたのではないのでしょうか。

年末年始で行った今回の講座の締めくくりに、参加された方にパソコンでインターネット



を使う上での注意事項と家庭での約束事を話して講座を終えました。子ども達も最初は多少緊張気味でしたが、講義が進むうちに緊張もほぐれパソコンと真剣ににらめっこしていました。

平成30年12月25日（火）17時40分からのJ:COMデイリーニュースにて冬休み親子パソコン教室と大井会長のインタビューが放送されました。

広報やちよ平成31年2月1日号にも冬休みパソコン教室が紹介されます。